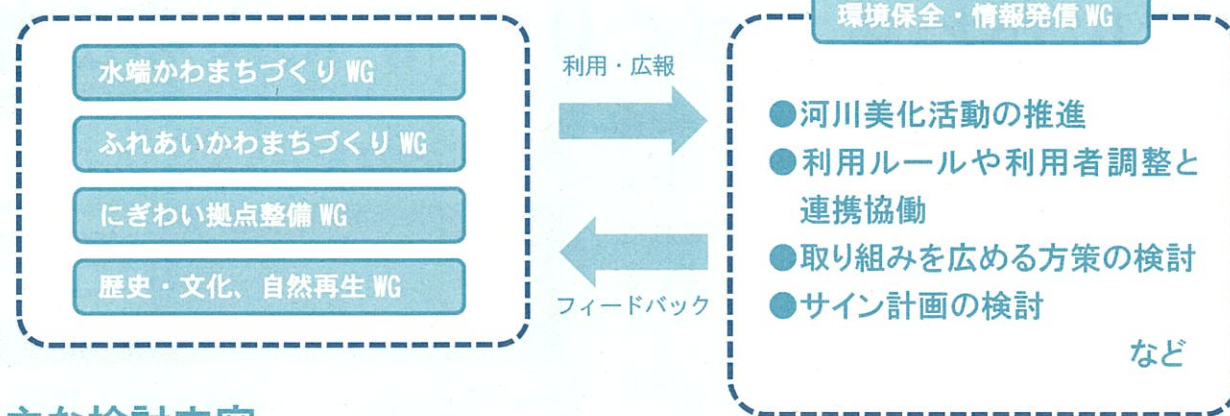


環境保全、情報発信 WG とは

環境保全・情報発信 WG は亀岡市環境美化条例・川の通信簿など「環境保全」に関する取り組みや保津川かわまちづくりのHP を含めた取り組みを広める方策の検討など「情報発信」に関する取り組みについて検討しているグループです。これまでに保津川かわまちづくりのホームページを作成し、保津川かわまちづくりの取り組みを広めています。

環境保全、情報発信 WG の検討内容

●他の WG との関係



●主な検討内容

●環境保全

- ・桂川クリーン大作戦などの河川美化活動へ継続して参加しています。
- ・亀岡市環境美化条例「美化推進重点地域」の指定と、それを契機とした地域ぐるみでの環境保全活動の枠組みづくり等を検討しています。
- ・市民がわかりやすい指標で河川環境を評価して環境美化につなげていく「川の通信簿」の利用を検討しています。

●情報発信

- ・保津川かわまちづくりのHP による広報を推進しています。
- ・様々なチャンネルを活用した情報発信を検討しています。
(平成24年4月～)



●その他

- ・上記の取り組みを進めていく上で必要となってくる予算について、各種団体や企業の助成等の活用を検討しています。

キーワード

環境保全 情報発信 多様な連携協働

これまでの実績と今後の予定

大目標	小目標	主体	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29～	備考
環境保全	美化重点地域の指定に向けて	亀岡市		←→						亀岡市の施策との進捗調整
情報発信	HPの開設	京都府 亀岡市	● 開設					←→		HPの充実
	サイン計画の策定	京都府 亀岡市 他							←→	

←→ 検討

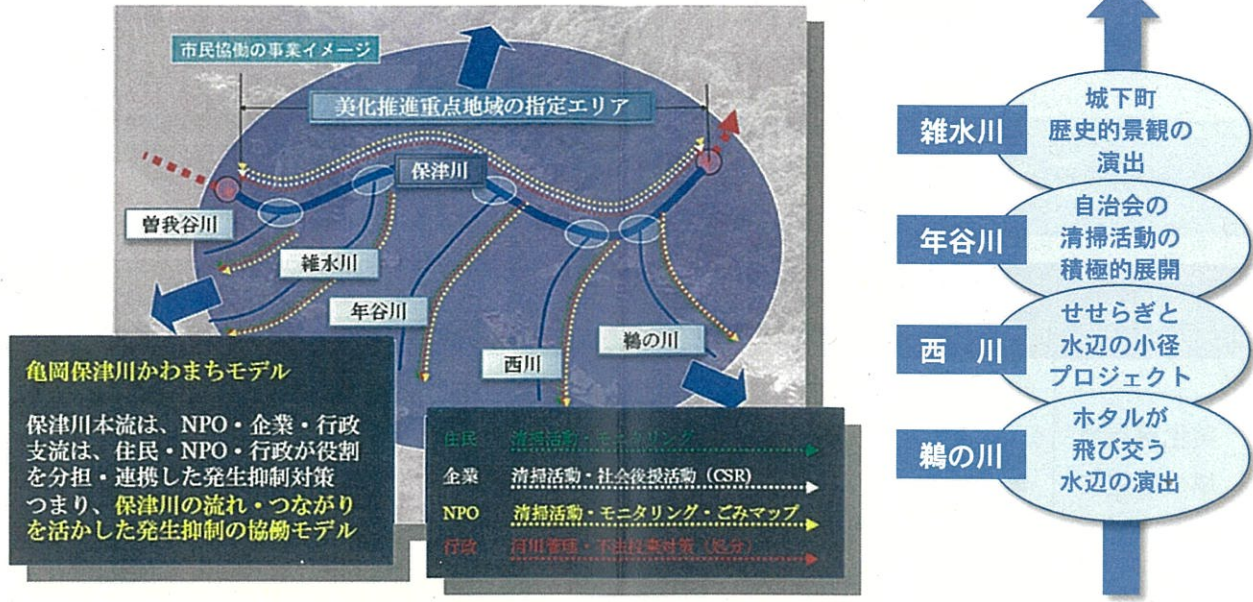
※平成27年度以降は予定です。

今後の予定

保津川かわまちづくりのHP については、保津川に関する情報を広く募集し、HP 上で発信していきます。また、亀岡市環境美化条例については「美化推進重点地域」への指定も含めて環境保全の取り組みを推進します。なお、今後は高水敷利用計画を踏まえたサイン計画策定に取り組む予定とします。

●亀岡市環境美化条例(美化推進重点地域)の指定に向けた検討(案)

保津川周辺における美化推進重点地域のイメージ



漂着ごみ対策推進組織の組織化及び事業計画(案)

海ごみサミット 2012 亀岡保津川会議実行委員会をベースとして、漂着ごみ対策を推進する組織の設立や、海ごみサミットで採択された「亀岡保津川宣言」・「川のごみと海のごみをもとに考える京都流域宣言」を具現化するための事業を検討します。

保津川の日関連事業
平成 26 年 3 月 16 日に実施
平成 27 年 3 月 1 日に実施

漂着ごみ対策事業(案)

- 保津川調査の日/保津川清掃の日の設定
- 亀岡市美化推進重点地域の指定
- 保津川クリーン大作戦
- 桂川流域フォーラム

- こども海ごみ探偵団事業
- 海ごみ環境学習事業
- スポーツ GOMI 拾い
- エコ観光プロジェクト
- (ほづがわファンランとの連携事業)

●桂川クリーン大作戦への参加

「桂川クリーン大作戦」は、桂川の河川美化を目的に、毎年、流域全体で同時に清掃活動を行う取り組みです。桂川クリーンネットワークの主催で、平成 19 年度から実施されています。

「保津川かわまちづくり推進協議会」からは平成 23 年度に初めて亀岡会場(保津橋周辺)での清掃活動に 6 団体が参加していただき、その後、毎年推進協議会から参加しています。

第 5 回桂川クリーン大作戦

日時：平成 24 年 2 月 19 日(日)

第 6 回桂川クリーン大作戦

日時：平成 25 年 2 月 17 日(日)

第 7 回桂川クリーン大作戦

日時：平成 26 年 2 月 23 日(日)

第 8 回桂川クリーン大作戦

日時：平成 27 年 2 月 22 日(日)



●保津川かわまちづくりの HP による広報

文字のサイズ 小 中 大

保津川かわまちづくりの HP は平成 24 年 4 月に開設されました。HP 上には保津川かわまちづくり計画の掲載ページや推進協議会のページがリンクされているほか、保津川かわまちづくりに関連する団体 HP がリンクされています。

また、ソーシャルネットワークサービスを活用した情報発信にも取り組んでいます。facebook と連動させた「保津川日誌」には、保津川に関する様々な情報や話題を掲載しています。また、Twitter と連動させた「お知らせ」には、保津川かわまちづくりの会議等の開催記録を発信しています。

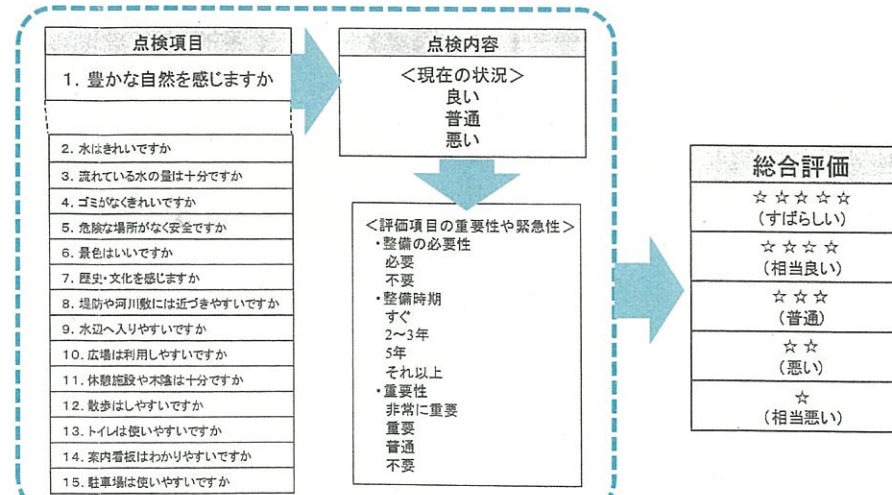
保津川かわまちづくり



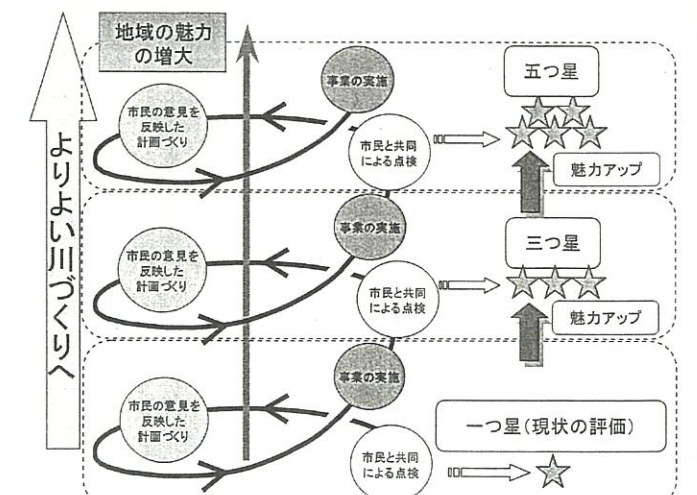
●川の通信簿の利用検討

「川の通信簿」は全国の河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と共同でアンケート調査を実施した結果から、良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理などに反映することにより、良好な河川空間の保全、整備、管理を図るものです。点検内容は 15 項目あり、最終的に 5 段階評価を行います。

成果の活かし方については、市民と行政が良い点・悪い点の情報を共有し、今後のいい川づくりに活かします。また、川の有する魅力ある点を PR し、河川愛護の普及や環境学習、観光振興などに活かします。さらに、平成 24 年の初めに試行された「川の通信簿」の Web 版では「いつでも」「どこでも」「だれでも」川の評価や写真などを投稿することができるため、多くの人と情報共有ができ、河川管理者がそれらの情報を確認することで、今後の河川管理や河川の保全・整備に活かされています。



「川の通信簿」による評価の仕組み



「川の通信簿」によるよりよい川づくりへのイメージ